



「市民活動フェスタ 2022」の開催日決定!!

2022年に入った1月12日、「市民活動フェスタ」開催に向け、第6回目の意見交換会が開催されました。過去2年間のブランク（中止）を受け、一からフェスタを作り直そうという試みがしばらく続いておりましたが、ようやく一定の方向性が出てきたので、お知らせします。なおフェスタ2021については、令和4年3月までの開催が不可能なため、今までの意見交換会で話し合われた内容を継続し、市民活動2022として開催することになりました。



第6回意見交換会の様子

- (1) 目的 ①自分たちの日頃の活動を多くの人に知ってもらおう。②市民や他団体との交流を通して活動の輪を広げたい（参加者を増やしたい）。
- (2) 期日 令和4年7月2日（土）・3日（日）の中で開催する。
- (3) 会場 市民活動サポートセンターを中心（ホスト）に他会場も確保する。
- (4) 内容 原則、自主制作の動画を中心にオンラインでの開催を柱とする。なお、事前の動画制作が不可能な団体は、当日各会場での展示、発表等での参加（ライブ配信など）も可能とする。
- (5) その他 詳細については、今後の意見交換会などで検討していく。

プラチナサロン「あなたに会えて良かった」

○出演：鈴木幹夫・中山公民館長（ギター・うた）/星井彰美さん（ピアノ・鍵盤ハーモニカ）

昨年の12月9日、市民活動サポートセンターで「プラチナサロン」を開催しました。

今回は、松本市中山公民館館長の鈴木幹夫さんから「あなたに会えて良かった」と題して「歌とお話」を聞きました。鈴木さんは、公民館長を務める傍ら、「ぽこ・あ・ぽこ」というグループでの音楽活動や市民タイムスにコラムを連載するなど多才に活動をしています。お話を交えながら鈴木さんが作った曲を2時間たっぷり熱唱していただき盛大に盛り上がりました。震災や原発のお話や家族の日常を歌った曲などを聞き、参加者たちは思い思いに共感している様子でした。

鈴木さんのお知り合いの方など大勢の方にご来場いただき、市民活動サポートセンターを知っていただくことができ、また、今後のプラチナサロンやプラチナフォーラムの案内をし、プラチナサポーターズ松本への入会者も増えるなど、大変意義のあるサロンとなりました。



Close Up!

障害者パソコン研究会

代表者：前野 弘美

住所：松本市桐 2-4-44-1

E-mail：hmaeno@avis.ne.jp



学習会の様子

障害者パソコン研究会は、障がい者が自立するための技術支援や情報支援などを行っている団体です。

代表の前野さんにお話を伺ったのは、2021年もあとわずかかで終わるという時でした。かたわらに盲導犬のハリス君がいて、ご自身のパソコンを立ち上げサポートセンターでインタビューを受けていただきました。

「障害者パソコン研究会は、平成9年に設立し、当初は“障害者パソコン通信研究会”という名で活動していました。当時インターネットはまだ普及しておらず、パソコン通信という方法でメールや掲示板が行われていました。コミュニケーションが取れないでいる障がい者の方のために、パソコン通信を使って自立するための技術や情報の支援、更には離れた所にいる方とのコミュニケーションの機会を増やし、勉強会を通して仲間を増やしてもらいたいというのが設立のきっかけでした。

その後、瞬く間に環境が変わり、スマートフォンを一人一人が持つようになり、それによって伝える手段が広がりました。

最近の活動は、松本市から業務委託を受け、障がいのある方、高齢者、またその家族や支援者の方に向けて、スマホやタブレットの学習会を開催しています。

生活を豊かにする手段として使ってもらいたいですし、音声操作や画面を読むアプリなどを使うことで、社会参加する機会を作ってほしいです。

今までは諦めていたことも、便利な機能を使い諦めることなく生活してほしいと思います。

一人ずつ丁寧に対応することを心掛け、それぞれが持つ課題に向き合いお手伝いをさせていただいています。

今の課題は、設立したころの仲間が、親の介護や仕事の都合でサポートができにくくなってしまい、特定の方に負担が掛かってしまっていること。そのため、一緒に活動してくれるボランティアを募集しています。

今後の活動は、コロナの状況にもよりますが、2月からは毎月講座を開いていきたいです。ホームページやFacebookでも情報発信しています。

お互いに教え合い、楽しみながらタブレットなどを使えるようになっていくのが理想の勉強会です。」と語る前野さんでした。

取材が終わると、すっと立ち上がり、前野さんのサポートをしてエレベーター前に行くハリス君に見入ってしまいました。(丸山)

ふれあいサロンクリスマスを開催しました

12月16日(木)“ふれあいサロンクリスマス”を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ふれあいサロンの開催を中止していましたが、コロナが落ち着いていたこともあり、2年ぶりに開催することができました。

午前の就労支援施設による販売会では、3団体が参加し、手作りのお弁当やお菓子、雑貨などを販売しました。お昼の時間には、お弁当を買い求めるお客で賑わい、参加者も元気よく声掛けをして販売会を楽しんでいる様子でした。

午後の交流会では、木島知草さん(がらくた座)を迎え、人形劇と歌による「クリスマス会」が行われました。

歌や手話などを取り入れながら、人形劇で命の大切さを伝えていただき、その世界に引き込まれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。参加者も手話を真似したり、歌を歌ったりして大盛り上がりでした。

次回開催は、3月17日(木)に「ふれあいサロン“春”」を予定しています。皆様にお会いできることを楽しみにしています。



支える人たち 『信州松本 城町文庫』 藤木 大介さん



昨年3月、開智1丁目に「信州松本城町文庫」がオープンしました。
本屋さんのような、カフェのような、雑貨店のような?不思議な空間です。
謎を探るため、オーナーの藤木大介さん(蟻ヶ崎2)にお話をうかがいました。

一信州松本城町文庫とは、どんなお店ですか?

本屋のように本屋でない、「毎日違うお店に変われたら面白い」がコンセプト。人と人が趣味でつながる空間を作りました。基本は無人営業です。

店内手前にある土間空間では、作品の展示や野菜などの販売に、奥にあるコミュニティ空間では、ハンドメイド作家さんなどに日替わりで貸し出し、ワークショップや展示会などを開催しています。

「毎日違うお店」を目指し、また継続的な出店をしやすいするため、出店に関しては基本的に無料です。

また、コミュニティ空間では、利用者は有料となりますが、利用者同士の交流の場としてだけでなく、仕事、勉強、読書などでも自由に使うことができます。

私はお城が趣味なので、その関係の本も常設していますし、松本市や周辺自治体のガイドなども多数取り揃えてあり、観光案内所と間違えられることがあります。



コミュニティ空間

一城町文庫を始めたきっかけは?

コロナ禍で地域にも元気がないんですよね。私はもともと開智小出身で、この生まれ育った場所を元気にしたい、何かできたら・・・という身近な関心からのスタートでした。開智・蟻ヶ崎のエリアを活性化するのが目標です。

私は行政書士で法律専門なので、何のノウハウもありませんでしたが、多くの人に共感してもらえるような、いろんなジャンルの人と知り合える、趣味と趣味でつながって共有できる空間を創りたいと思い、松本城と旧開智学校の二つの国宝の中間という好立地に、面白いと思ってもらえるきっかけづくりのお店を妻と始めることに決めました。

近距離に2棟の国宝建築がある魅力的な場所ですし、地域が盛り上がっている感じを出せたらいいですね。

開智学校の北側が人口密集地なので、城町文庫がきっかけで散歩する、車ではなく歩くことを選択し、街歩きをする人が増えてほしいと期待しています。

一無人営業のお店というのは珍しいですね。

全国の無人のお店を参考にしながら、ランニングコストを抑えるため、無人で事前精算のセルフレジ方式にしました。

営業時間は9時から23時まで。奥の小上がりのコミュニティ空間の利用料金はドリンク付で1時間500円、1日1,000円です。また、店内に無人カフェの準備も進めており、ふらっと入りやすく、地域に開かれたお店となり、地域を後押しできればと思います。

一いろんな作品が展示されていますね。

城町文庫小さなお店(レンタルスペース)は35区画あり、1区画2,000円から2,500円でいろんな方が気軽に出版・販売をしています。趣味でクラフト作りをしている主婦や学生さんや福祉関係の方が副業で作られている場合が比較的多いですね。その方達の可能性を最大限に生かしながら、作り手さん同士の交流や、知識の共有もでき、SNSを通して中間の輪も広がり、城町文庫の可能性を感じています。

感染症対策をしながら、いろんな企画が進行中です。通りを隔てて、松本神社北側の城町文庫野外部(屋外)ではキッチンカーを不定期で出店していて好評です。

新たな人との出会いや、ワークショップ等を通じたふれあいを大事にしています。



【これからの予定】

★3月1日(火)

Creeping thymes様: ハンドメイド販売

★3月5日(土)

TOMOKA様: 世界3周半ワールドトラベラー

※出店条件は出店日当日のものが基準となりますので、事前にご確認のうえ、ご了承ください。

地域を盛り上げたいと、趣味で始めた城町文庫。「時間と場所をばら売りしているお店。何だか分からないお店が一軒ぐらいいあって面白いんじゃないかと思うんですよね。」と藤木さん。松本城の北側、新しい発見を求めて、散歩がてら覗いてみてはいかがでしょうか。(インタビュアー: 塚原)

■イベント情報・助成金情報

【3月 塩尻市主催 ぱそこん基礎講座】

会場：塩尻市市民交流センターえんぱーく 2F ICT ルーム
 日程：①役員さんお助け講座～連絡網編～：3月1日
 ②役員さんお助け講座～お知らせ文書編～：3月4日
 ③暮らしの文書～名前シール編～：3月7日
 ④暮らしの文書～差込印刷編～：3月14日・15日
 時間：すべて 10：00～12：00
 参加費：①・②・③受講料 600 円、テキスト代 150 円
 ④受講料 1,200 円、テキスト代 250 円
 申込み：特定非営利活動法人グループ HIYOKO
 Eメール：pchiyoko@ghiyoko.net
 問合せ：塩尻市市民交流センター
 TEL：0263-53-3350

【3.6 サラバ原発 長野県大行進 in 松本】

11年目の3.11
 つながろうフクシマ ひろげよう脱原発
 止めよう再稼働・汚染水海洋放出 学ぼう内外被曝
 日時：令和4年3月6日(日) 13:30 雨天決行
 場所：松本市花時計公園
 参加：どなたでも参加できます。
 〈プログラム〉
 13:30～歌・演奏、14:00～集会、
 14:40 発 パレード
 (公園-あがたの森通り-本町-伊勢町-花時計公園解散)
 問合せ：090-4628-8549、090-3476-1074
 090-8569-3578
 主催：脱原発信州ネットワーク・松本

【ふれあいサロン 春】

日時：令和4年3月17日(木)
 販売会：10:30～12:50 お弁当や焼き菓子など
 交流会：13:00～14:00 木島知草さんによる人形劇
 会場：松本市市民活動サポートセンター
 参加費：無料、どなたでもご参加いただけます。
 主催：ふれあいマーケット事務局(松本市元町 2-7-13)
 問合せ：市民活動サポートセンター TEL：0263-88-2988
 ※新型コロナウイルス感染状況により、中止する場合がありますのでご了承ください。

【色育(いろいろ)体験会】

集中力・コミュニケーション力・想像力アップ
 日時：毎月第3日曜日 10:30～11:30
 会場：松本市市民活動サポートセンター
 参加費：大人500円、子ども200円
 主催：(一社)日本色育推進会 長野色育会
 申込・問合せ：TEL 090-4153-5693
 ※日程変更もありますので、ご予約等お問合せください。
 ※お車で越しの際は、松本市役所駐車場をご利用ください。

横寺敏夫 患者と家族の支援基金

- 基金目的：患者さんやご家族の不安や苦しみが少しでも和らぎ、笑顔が増えることを目的とします。
- 対象団体：日本国内において実施される活動で以下の要件のいずれかを満たしたものの。
 - ①患者さんやご家族に対する様々な支援活動
 - ②その他この基金の目的達成に資する活動
- 助成金額：1事業あたり50万円を上限とする。
- 助成元：公益財団法人 公益推進協会
- URL：<https://kosuikyo.com/>
- 締切日：2022年3月7日(月) ※消印有効

令和4年度 生活学校助成

- 対象団体：①身近な地域や暮らしの課題解決に取り組む地域活動団体 ②全国の生活学校が連携して行う全国運動に参加する意向のある地域活動団体
 ※①②の両方に該当する団体
- 助成金額：①生活学校への参加：6万円
 ②全国運動への参加：上限5万円
- 助成元：公益財団法人 あしたの日本を創る協会
- URL：<http://www.ashita.or.jp/sg2.htm>
- 締切日：2022年4月30日(土)

■サポートセンターより



サポセン、SNS始めました!



Facebook



松本市 サポセン



Twitter

イベント情報や日々のサポセンの様子を発信しています。

《ぜひフォローお願いします!》

編集後記

オミクロン株の強い感染力で、子ども達の学校はいつ休校になるか、濃厚接触者の連絡がいつ来るかとソワソワしています。もう時間の問題だと覚悟はしていますが、受験生のいる我が家は、コロナに怯えながら過ごしています。サポートセンターで予定していた事業も、延期や中止を余儀なくされました。参加を希望されていた方には、ご迷惑をお掛けしてしまい申し訳ありません。少しでも早く収束してくれることを祈るばかりですね。寒い日が続き、春の訪れが待ち遠しく思いますが、体調に気を付けてお過ごしください。(犬飼)